

TP-INOUT

マニュアル

◆TP-INOUT

- TP-INOUT は店 POWER と基幹システムとの連動を、自動で行うプログラムです。
- TP-INOUT にはコマンド受信フォルダが存在しコマンドファイルを受信後、コマンドファイルに基づいた処理を行い、結果を転送先 FTP サーバーもしくは送信フォルダに格納します。
- TP-INOUT は店 POWER の DB サーバー上で常駐プログラムとして起動します。

◆TP-INOUT の基本仕様

- コマンドファイルの検索を任意指定の間隔で行います。
- コマンドファイルを発見するとコマンドを元にファイルもしくは DB を処理します。
- 複数コマンドファイルが存在する場合は並列で処理を行います。
- 処理終了後にコマンド単位でイベントログに結果を記載します。
- 処理終了後に送信フォルダに終了ログを出力します。
ファイル名はコマンドファイル名の拡張子を.LOG に変更しています。
- 抽出処理時は抽出結果ファイルを FTP 転送又は送信フォルダにファイルコピーします。
- 複数コマンドで抽出処理の場合は、各コマンドが終了次第抽出結果を転送しますが、転送されるファイル名は GUID を使用した仮の名称がつけられたファイルです。コマンドファイルの全内容が終了しだい正規のファイル名へ変更を行います。
- 処理中致命的なエラーが発生した場合、イベントログにエラーを記載します。
- 項目内の使用禁止文字として、半角のシングルコーテーションとカンマは使用できません。



- ・ コマンドファイルの送信は、転送フォルダが空の状態で行ってください。
転送フォルダに抽出ファイルが存在した場合ファイル転送エラーが発生します。
- ・ 更新ファイルが必要とする更新処理では、必ず更新ファイルを送信後にコマンドファイルを送信してください。
コマンドファイルを先に送信すると、更新処理ファイル未送信のエラーが発生する場合があります。

◆ZIP の基本仕様

処理ファイル名を設定する列に ZIP ファイル名を設定する事が可能です。
設定すると ZIP 化した CSV ファイルを更新、抽出する事が可能です。

- パスワード有で更新、抽出する事が可能です(TP-INOUT の環境設定で設定可能です)。
- 更新ファイルを ZIP 化で送信する場合、ZIP ファイル名と CSV ファイル名は同一である必要があります。
例). TP-INOUT, 1001, 商品情報. ZIP, 1 の場合 → 商品情報. CSV
例). TP-INOUT, 1001, 商品情報. ZIP, 1 の場合 → 商品. CSV は NG
- 抽出ファイルを ZIP 化する場合、ZIP ファイル名と CSV ファイル名は同一で作成します。
例). TP-INOUT, 1020, 店舗有効陳列. ZIP, ,, の場合 → 店舗有効陳列. CSV

◆ATW-INOUT

- ATW-INOUT は店 POWER（クラウド）と基幹システムとの連動を、自動で行うサービスです。
- ATW-INOUT は FTP を使用しファイルの受け渡しを行います。ファイルを転送する場合は、市販やフリーの FTP 通信ソフトが必要になります。
- ATW-INOUT の環境と FTP 通信を行いますので、セキュリティ上ユーザー様にはグローバル IP アドレスを取得していただき登録する必要があります。
※ATW-INOUT 環境の FTP サーバーと通信を行うには、登録した IP アドレスを持つ PC としか通信を行う事ができません。
- ATW-INOUT にはユーザー様専用の FTP コマンド受信フォルダにてコマンドファイルを受信後、コマンドファイルに基づいた処理を行い、処理結果を結果フォルダに格納します。

◆更新処理の流れ

- ① コマンドファイルと処理データファイルを仕様に基づいて作成します。
- ② FTP 通信ソフトで作成したファイルをユーザー様専用の FTP コマンド受信フォルダに送信します。
- ③ ATW-INOUT はコマンドファイルを認識後、処理を開始します。
- ④処理が終了すると、FTP 送信フォルダに終了ログを保存します。
※ファイル名はコマンドファイル名の拡張子を.LOG に変更しています。
※抽出処理時は抽出結果ファイルを FTP 転送又は送信フォルダにファイルコピーします。
※複数コマンドで抽出処理の場合は、各コマンドが終了次第抽出結果を転送しますが、転送されるファイル名は仮の名称がついたファイルです。コマンドファイルの全内容が終了しだい正規のファイル名へ変更を行います。
※項目内の使用禁止文字として、半角のシングルコーテーションとカンマは使用できません。
- ⑤FTP 通信ソフトを使用して終了ログを取得します。
※FTP 送信したファイルは処理終了後削除します。
※コマンドファイルのコマンド記述に関するエラーの場合にはコマンドファイルのみ削除し処理ファイルは残っています。終了ログにはコマンドエラーである事が記述されていますので、確認し再度コマンドを送信すれば、処理ファイルを送信する必要はありません。



- ・ コマンドファイルの送信は、送信フォルダが空の状態で行ってください。
送信フォルダに抽出ファイルが存在した場合ファイル転送エラーが発生します。
- ・ 更新ファイルを必要とする更新処理では、必ず更新ファイルを送信後にコマンドファイルを送信してください。
コマンドファイルを先に送信すると、更新処理ファイル未送信のエラーが発生する場合があります。

◆ZIP の基本仕様

処理ファイル名を設定する列に ZIP ファイル名を設定する事が可能です。
設定すると ZIP 化した CSV ファイルを更新、抽出する事が可能です。

- パスワード有で更新、抽出する事が可能です(パスワードは事前に登録が必要です)。
- 更新ファイルを ZIP 化で送信する場合、ZIP ファイル名と CSV ファイル名は同一である必要があります。
例). TP-INOUT, 1001, 商品情報. ZIP, 1 の場合 → 商品情報. CSV
例). TP-INOUT, 1001, 商品情報. ZIP, 1 の場合 → 商品. CSV は NG
- 抽出ファイルを ZIP 化する場合、ZIP ファイル名と CSV ファイル名は同一で作成します。
例). TP-INOUT, 1020, 店舗有効陳列. ZIP, ,, の場合 → 店舗有効陳列. CSV

◆データベース設定

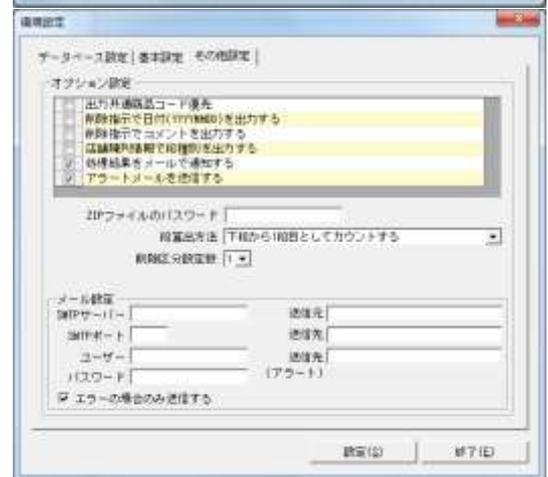
- データベース
 - SQL ServerかOracleを選択します。
 - SQL Serverの場合は認証方法を選択します。
- データソース名
 - SQL Serverはサーバー名及びインスタンス名
 - Oracleはローカルネットサービス名を入力します
- データベース名
 - SQL Serverのデータベース名を入力します。
- ユーザーID・パスワード
 - 接続用のユーザーID・パスワードを入力します。

◆基本設定

- コマンド受信フォルダ
 - コマンド受信フォルダを設定します。
 - 指定のフォルダを検索間隔で指定したタイミングでコマンドファイルを検索します。
- 送信設定
 - ファイルコピー転送かFTP転送を選択します。
 - ファイルコピー転送の場合は転送フォルダを指定します。
 - FTP転送の場合は転送先の情報を設定します。
- POWER SCREENデータフォルダ
 - POWER SCREENデータフォルダを選択します。

◆その他設定

- 出力共通商品コード優先
 - 共通商品コードを出力する場合、商品マスターの[出力共通商品コード]が存在する場合は優先して出力します。
- 削除指示で日付を(YYYYMMDD)を出力する。
 - 店舗陳列情報抽出の際に削除指示で日付を出力します。
 - 店舗陳列情報の出力フォーマットが変わります。
- 削除指示でコメントを出力する。
 - 店舗陳列情報抽出の際に削除指示のコメントを出力します。
 - 店舗陳列情報の出力フォーマットが変わります。
- 店舗陳列情報で段種別を出力する。
 - 店舗陳列情報抽出の際に段種別を出力します。
 - 店舗陳列情報の出力フォーマットが変わります。
- 処理結果をメールで通知する。
 - 処理が終了した際に登録アドレスへメール通知します。
 - 「エラーの場合のみ送信する」が有効な場合は処理エラーの場合のみメール通知します。
- アラートメールで送信する。
 - 処理エラーの場合結果メール通知以外に別アドレスにメール通知を行いません。
- ZIPファイルのパスワード。
 - ZIPファイル化する場合でパスワードが必要な場合は入力します。
- 段算出方法
 - 陳列ファイル抽出の段番号について上段を1段目にするか下段を1段目にするかを指定します。
- 削除区分設定数
 - 店舗陳列情報抽出の際に削除指示の数を設定します。
 - 店舗陳列情報の出力フォーマットが変わります。
- メール設定
 - SMTPの設定を行いません。
 - 送信先は処理結果送信先とアラートメール送信先を設定します。



◆商品情報更新コマンド仕様

項目	備考
1 識別	「TP-INOUT」を指定
2 処理コード	1001:商品情報更新
3 処理ファイル名	CSV形式 「任意.CSV」 ZIP形式 「任意.ZIP」
4 更新区分	0:通常更新 1:基幹系更新(基幹系整合性フラグを[1]で更新します。)
5 商品サイズ更新 (オプション)	0:処理ファイルの商品サイズで更新します。(指定が無い場合は「0」として処理) ※但し、処理ファイルの商品サイズが0の場合は更新しません。 1:既存データの商品サイズ情報を優先します。 ※新規登録及びDB上の商品サイズが0の場合のみサイズを更新します。
6 初期化 (オプション)	1:テーブルを初期化して取り込みます トランザクション処理を行います。更新中は参照出来ません
7 新規更新処理分け (オプション)	1:新規と更新の際に取込項目を任意に設定します。 任意項目はプログラム直下のINIファイルの内容を参照し更新する項目を判断します。 INIファイルは項目No(4以降)をカンマ区切りで設定します。 新規の場合はINSERT. INI、更新の場合はUPDATE. INI

※商品情報テーブルの情報フラグが「削除」、処理ファイル内の情報フラグも「削除」の情報は処理しません。

※商品サイズ更新対象項目は以下です。

商品サイズ、ボールサイズ、ケースサイズ、フック基準X、フック基準Y、上重なり、下上重なり

●商品情報ファイル仕様

【1行目】

TPOWER ITEM

【2行目】

No	項目	桁数	更新時	備考
1	情報フラグ	1	任意	0:有効 9:削除
2	共通商品コード	13	必須	JAN, UPC, EANなど
3	個別情報コード	10	任意	基本商品情報はスペース 店別商品情報は店舗コード
4	出力共通商品コード	30	任意	
5	プライベートコード	30	任意	自社商品コード
6	商品名	60	任意	
7	商品カナ名	60	任意	
8	短縮品名	30	任意	
9	商品サイズ(幅)	8	任意	半角数値のみ(0.00 ~ 99999.99)
10	商品サイズ(高)	8	任意	半角数値のみ(0.00 ~ 99999.99)
11	商品サイズ(奥)	8	任意	半角数値のみ(0.00 ~ 99999.99)
12	階層分類コード01	10	任意	
13	階層分類コード02	10	任意	
14	階層分類コード03	10	任意	
15	階層分類コード04	10	任意	
16	規格名	20	任意	容量、重量、大きさなど
17	規格カナ名	10	任意	
18	標準価格表示区分	1	任意	0:金額表示 1:別内容表示
19	標準価格	11	任意	半角数値のみ(0.00 ~ 99999999.99)

No	項目	桁数	更新時	備考
20	標準価格表示文字列	11	任意	
21	売価	11	任意	半角数値のみ (0.00 ~ 99999999.99)
22	原価	11	任意	半角数値のみ (0.00 ~ 99999999.99)
23	税区分	1	任意	0:外税 1:内税 2:非課税
24	発注単位	5	任意	半角数値のみ (0 ~ 99999)
25	最大在庫	5	任意	半角数値のみ (0 ~ 99999)
26	最小在庫	5	任意	半角数値のみ (0 ~ 99999)
27	賞味期間	5	任意	半角数値のみ (0 ~ 99999)
28	賞味期間単位	1	任意	0:時間 1:日 2:月 3:年
29	発売開始日	8	任意	半角数値のみ (YYYYMMDD)
30	発売中止日	8	任意	半角数値のみ (YYYYMMDD)
31	終売情報	1	任意	0:通常 1:終売
32	形状	2	任意	01:通常 (箱物) 02:円筒 03:袋物 04:ペットボトル 05:瓶 06:カップ 07:チューブ
33	商品コメント	200	任意	
34	ボールコード	30	任意	
35	ボールサイズ (幅)	8	任意	半角数値のみ (0.00 ~ 99999.99)
36	ボールサイズ (高)	8	任意	半角数値のみ (0.00 ~ 99999.99)
37	ボールサイズ (奥)	8	任意	半角数値のみ (0.00 ~ 99999.99)
38	ボール入数	4	任意	半角数値のみ (0 ~ 9999)
39	ケースコード	30	任意	
40	ケースサイズ (幅)	8	任意	半角数値のみ (0.00 ~ 99999.99)
41	ケースサイズ (高)	8	任意	半角数値のみ (0.00 ~ 99999.99)
42	ケースサイズ (奥)	8	任意	半角数値のみ (0.00 ~ 99999.99)
43	ケース入数	4	任意	半角数値のみ (0 ~ 9999)
44	優先面	1	任意	1:正面 2:上面 3:側面 4:横正面 5:横上面 6:横側面
45	フック基準X	7	任意	フック穴X位置 半角数値のみ (0.00 ~ [商品サイズ (幅)])
46	フック基準Y	7	任意	フック穴Y位置 半角数値のみ (-[商品サイズ (高)]*2) ~ [商品サイズ (高)])
47	上重なり	7	任意	スタッキング時の商品積上げ高 半角数値のみ (0.00 ~ [商品サイズ (高)])
48	下重なり	7	任意	スタッキング時の商品積上げ高 半角数値のみ (0.00 ~ [商品サイズ (高)])
49	圧縮率	3	任意	半角数値のみ (50 ~ 100)
50	商品分類コード001~050	10	任意	
100	ユーザー定義 (商品項目) 001~030	60	任意	マスター設定による

【3行目以降はデータ行】

◆分類情報更新コマンド仕様

項目	備考
1 識別	「TP-INOUT」を指定
2 処理コード	1002:分類情報更新
3 処理ファイル名	CSV形式 「任意.CSV」 ZIP形式 「任意.ZIP」
4 対象分類	C001:商品分類001更新 ~ C050:商品分類050更新 L001:階層分類(大)更新 L002:階層分類(中)更新 L003:階層分類(小)更新 L004:階層分類(細)更新 M001:棚割分類001更新 ~ M010:棚割分類010更新 A001:店舗情報更新
5 初期化 (オプション)	1:テーブルを初期化して取り込みます ※対象分類が階層分類(L001~L004)、店舗情報(A001)の場合は無効です。

●商品分類ファイル仕様

【1行目】

TPOWER CLS001~050

【2行目】

No	項目	桁数	更新時	備考
1	情報フラグ	1	任意	0:有効 9:削除
2	分類コード	10	必須	
3	分類名称	30	必須	
4	色		任意	#000000 ~ #FFFFFF ※16進数 (Web色)

【3行目以降はデータ行】

●棚割分類ファイル仕様

【1行目】

TPOWER MKEY001~010

【2行目】

No	項目	桁数	更新時	備考
1	情報フラグ	1	任意	0:有効 9:削除
2	分類コード	10	必須	
3	分類名称	30	必須	

【3行目以降はデータ行】

●店舗情報ファイル仕様

【1行目】

TPOWER STR

【2行目】

No	項目	桁数	更新時	備考
1	店舗コード	10	必須	
2	店舗名称	30	必須	
3	面積	8	任意	
4	表示順位	1	任意	0:通常 [以外]:値の大きい順に表示

【3行目以降はデータ行】

● 階層分類(大)ファイル仕様

【1行目】

TPOWER CLSL001

【2行目】

No	項目	桁数	更新時	備考
1	情報フラグ	1	任意	0:有効 9:削除
2	階層分類コード01	10	必須	
3	分類名称	30	必須	
4	色		任意	#000000 ~ #FFFFFF ※16進数 (Web 色)

【3行目以降はデータ行】

● 階層分類(中)ファイル仕様

【1行目】

TPOWER CLSL002

【2行目】

No	項目	桁数	更新時	備考
1	情報フラグ	1	任意	0:有効 9:削除
2	階層分類コード01	10	必須	
3	階層分類コード02	10	必須	
4	分類名称	30	必須	
5	色		任意	#000000 ~ #FFFFFF ※16進数 (Web 色)

【3行目以降はデータ行】

● 階層分類 (小)ファイル仕様

【1行目】

TPOWER CLSL003

【2行目】

No	項目	桁数	更新時	備考
1	情報フラグ	1	任意	0:有効 9:削除
2	階層分類コード01	10	必須	
3	階層分類コード02	10	必須	
4	階層分類コード03	10	必須	
5	分類名称	30	必須	
6	色		任意	#000000 ~ #FFFFFF ※16進数 (Web 色)

【3行目以降はデータ行】

● 階層分類 (細)ファイル仕様

【1行目】

TPOWER CLSL004

【2行目】

No	項目	桁数	更新時	備考
1	情報フラグ	1	任意	0:有効 9:削除
2	階層分類コード01	10	必須	
3	階層分類コード02	10	必須	
4	階層分類コード03	10	必須	
5	階層分類コード04	10	必須	
6	分類名称	30	必須	
7	色	7	任意	#000000 ~ #FFFFFF ※16進数 (Web 色)

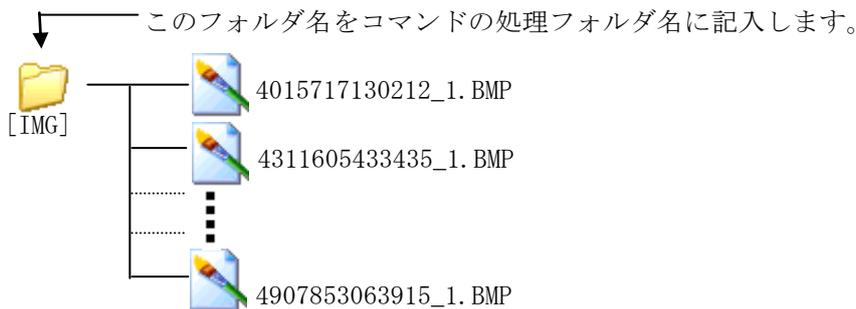
【3行目以降はデータ行】

◆商品画像更新コマンド仕様

項目	備考
1 識別	「TP-INOUT」を指定
2 処理コード	1003:商品画像更新
3 処理ファイル名	フォルダ 任意のフォルダ名を指定 ZIP形式 「任意.ZIP」
4 処理画像形式	100: JANコード 200: JANフォルダ化 310: プラネット・商品情報無し 320: プラネット・商品情報有り 410: SP2・商品情報無し 420: SP2・商品情報有り
5 解像度自動調整	0: 無効 (商品画像の大きさを変更しません) 1: 店POWERの環境設定の設定で解像度自動調整する
6 未登録面のみの インポート	0: 無効 1: 有効

●商品画像の送信仕様

商品画像更新は処理フォルダ単位で行います。
商品画像更新ファイル仕様を元に作成した複数商品画像を1つのフォルダ内に格納し送信します。
商品画像更新コマンドの処理フォルダ名には、複数商品画像を格納したフォルダ名を記載します。
例)



※ZIP形式の場合、IMGフォルダでは無く、配下の内容をZIP化します。

●商品画像更新ファイル形式

商品画像形式	商品画像ファイル
JANコード	JANコード + “_” + 面番号(1~9, 13~15, 19) + “.拡張子” 例) 4912345678904_1.BMP
JANフォルダ化	JANフォルダ管理 + “_” + 面番号(1~9, 13~15, 19) + “.拡張子” JANのフォルダ管理とはJANコードよりフォルダ名(JAN上7桁)とファイル名(JAN下6桁)を作成したものです。 例) 13桁JAN → ¥4912345¥678904_1.BMP 例) 8桁JAN → ¥491234¥45_1.BMP

商品画像のファイル形式はBMP、JPGです。

●面番号仕様

商品画像	面番号
商品画像	1:正面 2:上面 3:側面 4:横正面 5:横上面 6:横側面
ボール画像	7:正面 8:上面 9:側面
ケース画像	13:正面 14:上面 15:側面
カタログ画像	19

カタログ画像のファイル形式はJPGのみ。

● プラネット・画像仕様

プラネット項目	店POWERインポート項目
image1.JPG	商品正面画像
image2.JPG	商品側面画像
image3.JPG	商品上面画像
image7.JPG	カタログ画像

● プラネット・商品情報仕様 (data.CSV)

プラネット項目	店POWERインポート項目
識別番号	
商品区分コード(JAN:J、UPC:U)	
共通商品コード	共通商品コード
商品名(カナ)	商品カナ名
共通取引先コード	
JICFS分類コード	
POSレジ略称名	
商品規格(単品内容量)	
商品規格(単位コード)	
セット区分	
容器形態コード	
配信理由	
発売開始年月日(YYYY/MM/DD)	発売開始日
発売中止年月日(YYYY/MM/DD)	発売中止日
受注開始年月日	
登録・変更年月日	
JICFS解禁日	
PB情報	
単品情報(幅)	商品サイズ(幅)
単品情報(高)	商品サイズ(高)
単品情報(奥)	商品サイズ(奥)
単品重量	
希望小売価格	
標準卸単価	
製販単価	
取引制度区分	
最低発注(数量)	
最低発注(数量単位)	
ブランド略称名	
共通取引先名	
サブJANコード	
単品内入数	
コメント	
商品名	
棚割商品名	商品名
商品プロフィール	商品コメント

● SP2・画像仕様

SP2項目	店POWERインポート項目
T1FT. JPG	商品正面画像
T2TP. JPG	商品側面画像
T3RT. JPG	商品上面画像
G1. JPG(外観1画像)	カタログ画像

● SP2・商品情報仕様(UPロード形式:cub. TXT DOWNロード形式:cdb. TXT)

SP2項目	店POWER・インポート項目
標準・短縮識別コード	
共通商品コード	共通商品コード
リニューアルフラグ	
限定商品フラグ	
国産・輸入区分	
メーカーコード	
メーカー名	
大分類	
中分類	
小分類	
細分類	
メーカー側商品コード	
商品アイテム名称(カタカナ)	商品カナ名
商品アイテム略称(カタカナ)	
商品アイテム名称(漢字, ひらがな)	商品名
商品固有名称(カタカナ)	商品カナ名
商品固有名称(漢字, ひらがな)	商品名
ブランド名(カタカナ)	
ブランド名(漢字, ひらがな)	
規格(カタカナ)	
規格(漢字, ひらがな)	
希望小売価格	標準価格
課税区分	
税率区分	
商品規格	
商品規格・単位コード	
色名称	
用途	
容器形態コード	
賞味期間区分(Y:年、M:月、D:日)	賞味期間単位
賞味期間年月日	賞味期間
発売年月日(YYYYMMDD)	発売開始日
発売中止年月日(YYYYMMDD)	発売中止日
原産国・産地	
成分・原材料	
商品コメント	
商品コメント2	
同一JAN複数商品説明	商品コメント
酒類関係項目	
酒類関係項目	
単品情報(幅)	商品サイズ(幅)
単品情報(高)	商品サイズ(高)
単品情報(奥)	商品サイズ(奥)
フック穴(X)	フック基準X
フック穴(Y)	フック基準Y
上重なりサイズ	商品高 - 下重なり(重なりの基準が逆の為)
下重なりサイズ	商品高 - 上重なり(店POWERは見える部分の数値、SP2は隠れた部分の数値である)
情報提供可能日	
登録者コード	
登録者名	
代行登録社名	
データ登録・更新日	

◆ 売上情報更新コマンド仕様

項目	備考
1 識別	「TP-INOUT」を指定
2 処理コード	1004:売上情報更新
3 処理ファイル名	CSV形式 「任意.CSV」 ZIP形式 「任意.ZIP」
4 高速更新 (オプション)	1:高速更新を行います。 トランザクション処理を行います。更新中は参照出来ません

※ファイル内の店舗コードがマスター未登録の場合はエラーになりデータを読み飛ばします。

● 売上情報ファイル仕様(日管理)

【1行目】

TPOWER SALE

【2行目】

No	項目	桁数	更新時	備考
1	店舗コード	10	必須	
2	共通商品コード	13	必須	
3	日	8	必須	半角数値のみ (YYYYMMDD)
4	区分	1	必須	半角数値のみ (0 ~ 9)
5	売上数量	16	任意	半角数値のみ (0.00 ~ 999999999999.99)
6	売上金額	16	任意	半角数値のみ (0.00 ~ 999999999999.99)
7	粗利益	17	任意	半角数値のみ (-999999999999.99 ~ 999999999999.99)
8	入荷数量	16	任意	半角数値のみ (0.00 ~ 999999999999.99)
9	入荷金額	16	任意	半角数値のみ (0.00 ~ 999999999999.99)

【3行目以降はデータ行】

● 売上情報ファイル仕様(週、月管理)

【1行目】

TPOWER SALE

【2行目】

No	項目	桁数	更新時	備考
1	店舗コード	10	必須	
2	共通商品コード	13	必須	
3	年	4	必須	半角数値のみ (YYYY)
4	週 or 月	3	必須	半角数値のみ (MM) (WWW)
5	区分	1	必須	半角数値のみ (0 ~ 9)
6	売上数量	16	任意	半角数値のみ (0.00 ~ 999999999999.99)
7	売上金額	16	任意	半角数値のみ (0.00 ~ 999999999999.99)
8	粗利益	17	任意	半角数値のみ (-999999999999.99 ~ 999999999999.99)
9	入荷数量	16	任意	半角数値のみ (0.00 ~ 999999999999.99)
10	入荷金額	16	任意	半角数値のみ (0.00 ~ 999999999999.99)

【3行目以降はデータ行】

◆ レジ通過人数更新コマンド仕様

項目	備考
1 識別	「TP-INOUT」を指定
2 処理コード	1005:レジ通過人数更新
3 処理ファイル名	CSV形式 「任意.CSV」 ZIP形式 「任意.ZIP」

※ファイル内の店舗コードがマスター未登録の場合はエラーになりデータを読み飛ばします。

● レジ通過人数ファイル仕様(日管理)

【1行目】

TPOWER REG

【2行目】

No	項目	桁数	更新時	備考
1	店舗コード	10	必須	
2	日	8	必須	半角数値のみ (YYYYMMDD)
3	レジ通過人数	8	任意	半角数値のみ (0 ~ 99999999)

【3行目以降はデータ行】

● レジ通過情報ファイル仕様(週、月管理)

【1行目】

TPOWER REG

【2行目】

No	項目	桁数	更新時	備考
1	店舗コード	10	必須	
2	年	4	必須	半角数値のみ (YYYY)
3	週 or 月	3	必須	半角数値のみ (MM) (WWW)
4	レジ通過人数	8	任意	半角数値のみ (0 ~ 99999999)

【3行目以降はデータ行】

◆店舗グループ更新コマンド仕様

項目	備考
1 識別	「TP-INOUT」を指定
2 処理コード	1006:店舗グループ更新
3 処理ファイル名	CSV形式 「任意.CSV」 ZIP形式 「任意.ZIP」
4 初期化 (オプション)	1:テーブルを初期化して取り込みます

● 店舗グループファイル仕様

【1行目】

TPOWER SGRP

【2行目】

No	項目	桁数	更新時	備考
1	情報区分	1	必須	0:店舗グループ属性情報 1:店舗グループ情報 2:店舗情報
2	店舗グループ属性コード	10	必須	
3	店舗グループ属性名称	30	必須	[0]:店舗グループ属性情報時のみ必須
4	店舗グループコード	10	必須	[1]:店舗グループ情報/[2]:店舗情報時のみ必須
5	店舗グループ名称	30	必須	[1]:店舗グループ情報時のみ必須
6	店舗コード	10	必須	[2]:店舗情報時のみ必須

【3行目以降はデータ行】

◆ ID情報更新仕様

	項目	備考
1	識別	「TP-INOUT」を指定
2	処理コード	1009:ID情報更新
3	処理ファイル名	CSV形式 「任意.CSV」 ZIP形式 「任意.ZIP」

● ID情報ファイル仕様

【1行目】(データ行) ※ヘッダー行は不要です。

No	項目	桁数	備考
1	追加するIDコード	10	[必須] 英数字のみ
2	追加IDの名称	20	[必須]
3	追加IDのパスワード	10	[任意] 英数字のみ
4	設定する店舗コード	10	[必須] 設定時は[店舗] ID、未設定時は[本部] ID。
5	参照するIDコード	10	[必須] 英数字のみ

※[追加するIDコード]には店POWER管理者のIDコードは設定できません。

※[追加IDのパスワード]は任意設定です(未設定可能)。

※[参照するIDコード]には既に登録済の情報を設定する必要があります。

部門カテゴリー、パターン名抽出仕様

◆ 部門カテゴリー抽出コマンド仕様

	項目	備考
1	識別	「TP-INOUT」を指定
2	処理コード	1010:部門カテゴリー抽出
3	処理ファイル名	CSV形式 「任意.CSV」 ZIP形式 「任意.ZIP」
4	抽出データ区分	0:全て 1:定番 2:企画 ※1を指定してください

● 部門カテゴリーファイル仕様

【1行目】

TPOWER CTG

【2行目】

No	項目	桁数	備考
1	部門コード	10	
2	カテゴリーコード	10	
3	カテゴリー名称	30	

【3行目以降はデータ行】

◆ パターン抽出コマンド仕様

	項目	備考
1	識別	「TP-INOUT」を指定
2	処理コード	1011:パターン抽出
3	処理ファイル名	CSV形式 「任意.CSV」 ZIP形式 「任意.ZIP」
4	抽出データ区分	0:全て 1:定番 2:企画 ※1を指定してください

● パターンファイル仕様

【1行目】

TPOWER PTN

【2行目】

No	項目	桁数	備考
1	カテゴリーコード	10	
2	パターンコード	10	
3	パターン名称	30	

【3行目以降はデータ行】

◆ 商品情報抽出コマンド

項目	備考
1 識別	「TP-INOUT」を指定
2 処理コード	1012:商品情報抽出
3 処理ファイル名	CSV形式 「任意.CSV」 ZIP形式 「任意.ZIP」
4 データ区分	0:全データ 1:店POWER更新データ(基幹系整合性フラグが[1]以外のデータ)
5 抽出区分	0:通常抽出 1:基幹系抽出(基幹系整合性フラグを[1]で更新)

● 商品情報ファイル仕様 ページ:1/2

【1行目】

TPOWER ITEM

【2行目】

No	項目	桁数	備考
1	情報フラグ	1	0:有効 9:削除
2	共通商品コード	13	
3	個別情報コード	10	基本商品情報はスペース 店別商品情報は店舗コード
4	出力共通商品コード	30	
5	プライベートコード	30	自社商品コード
6	商品名	60	
7	商品カナ名	60	
8	短縮品名	30	
9	商品サイズ(幅)	8	
10	商品サイズ(高)	8	
11	商品サイズ(奥)	8	
12	階層分類コード01	10	
13	階層分類コード02	10	
14	階層分類コード03	10	
15	階層分類コード04	10	
16	規格名	20	容量、重量、大きさなど
17	規格カナ名	10	
18	標準価格表示区分	1	0:金額表示 1:別内容表示
19	標準価格	11	
20	標準価格表示文字列	11	
21	売価	11	
22	原価	11	
23	税区分	1	0:外税 1:内税 2:非課税

No	項目	桁数	備考
24	発注単位	5	
25	最大在庫	5	
26	最小在庫	5	
27	賞味期間	5	
28	賞味期間単位	1	0:時間 1:日 2:月 3:年
29	発売開始日	8	
30	発売中止日	8	
31	終売情報	1	0:通常 1:終売
32	形状	2	01:通常(箱物) 02:円筒 03:袋物 04:ペットボトル 05:瓶 06:カップ 07:チューブ
33	商品コメント	200	
34	ボールコード	30	
35	ボールサイズ(幅)	8	
36	ボールサイズ(高)	8	
37	ボールサイズ(奥)	8	
38	ボール入数	4	
39	ケースコード	30	
40	ケースサイズ(幅)	8	
41	ケースサイズ(高)	8	
42	ケースサイズ(奥)	8	
43	ケース入数	4	
44	優先面	1	1:正面 2:上面 3:側面 4:横正面 5:横上面 6:横側面
45	フック基準X	7	
46	フック基準Y	7	
47	上重なり	7	
48	下重なり	7	
49	圧縮率	3	
50	更新日	8	
51	更新日(画像)	8	
52	商品分類コード001~050	10	
102	ユーザー定義(商品項目) 001~030	60	

【3行目以降はデータ行】

パターン陳列情報抽出仕様

◆ パターン陳列情報抽出(現状)コマンド仕様

項目	備考
1 識別	「TP-INOUT」を指定
2 処理コード	1030:パターン陳列情報抽出(現状)
3 処理ファイル名	CSV形式 「任意.CSV」 ZIP形式 「任意.ZIP」
4 指定日	スペースの場合本日付で処理 ※指定日を含みます
5 カテゴリー	スペースの場合全カテゴリー

指定日過去直近のパターン陳列データを抽出します。

◆ パターン陳列情報抽出(未来)コマンド仕様

項目	備考
1 識別	「TP-INOUT」を指定
2 処理コード	1031:パターン陳列情報抽出(未来)
3 処理ファイル名	CSV形式 「任意.CSV」 ZIP形式 「任意.ZIP」
4 指定日	スペースの場合本日付で処理 ※指定日を含みません
5 カテゴリー	スペースの場合全カテゴリー

指定日以降のパターン陳列データを抽出します。

● パターン陳列情報ファイル仕様

【1行目】

No	項目	桁数	備考
1	カテゴリーコード	10	
2	パターンコード	10	
3	年	4	出力しません
4	週	3	出力しません
5	棚割開始日	8	YYYYMMDD
6	棚割終了日	8	出力しません
7	台	2	
8	段	2	
9	列	4	
10	台(カセット)	2	
11	段(カセット)	2	
12	列(カセット)	4	
13	陳列形態	1	0:なし 1:別商品積上 2:手前挿入
14	陳列連番	4	
15	共通商品コード	13	
16	プライベートコード	30	
17	フェイス数	4	
18	陳列面	2	1:正面 2:上面 3:側面 4:横正面 5:横上面 6:横側面 7:正面 8:上面 9:側面 13:正面 14:上面 15:側面 0:ダミー商品 投込商品
19	積上数	2	
20	陳列在庫数量	5	
21	実在庫数量	5	
22	企画コード	10	出力しません

【2行目以降はデータ行】

棚割モデル割付情報抽出仕様

◆ 棚割モデル割付情報抽出(現状)コマンド仕様

項目	備考
1 識別	「TP-INOUT」を指定
2 処理コード	1035:棚割モデル割付情報抽出(現状)
3 処理ファイル名	CSV形式 「任意.CSV」 ZIP形式 「任意.ZIP」
4 指定日	スペースの場合本日日付で処理 ※指定日を含みます
5 店舗	スペースの場合全店舗
6 カテゴリー	スペースの場合全カテゴリー

指定日過去直近のパターン割付を抽出します。

◆ 棚割モデル割付情報抽出(未来)コマンド仕様

項目	備考
1 識別	「TP-INOUT」を指定
2 処理コード	1036: 棚割モデル割付情報抽出(未来)
3 処理ファイル名	CSV形式 「任意.CSV」 ZIP形式 「任意.ZIP」
4 指定日	スペースの場合本日日付で処理 ※指定日を含みません
5 店舗	スペースの場合全店舗
6 カテゴリー	スペースの場合全カテゴリー

指定日以降のパターン割付を抽出します。

● 棚割モデル割付情報ファイル仕様

【1行目】

No	項目	桁数	備考
1	カテゴリーコード	10	
2	店舗コード	10	
3	棚割開始日	8	YYYYMMDD
4	パターンコード	10	
5	順番	2	
6	反転	1	0:通常 1:反転
7	什器本数	2	

【2行目以降はデータ行】

店舗陳列情報抽出仕様

◆ 店舗有効陳列情報抽出コマンド仕様

項目	備考
1 識別	「TP-INOUT」を指定
2 処理コード	1020: 店舗有効陳列情報抽出
3 処理ファイル名	CSV形式 「任意. CSV」 ZIP形式 「任意. ZIP」
4 指定日	スペースの場合本日付で処理 ※指定日を含みます
5 店舗	スペースの場合全店舗
6 カテゴリー	スペースの場合全カテゴリー

指定日(直近過去)での有効陳列を抽出します。変更区分は出力しません。

◆ 店舗変更陳列情報抽出コマンド仕様

項目	備考
1 識別	「TP-INOUT」を指定
2 処理コード	1021: 店舗変更陳列情報抽出
3 処理ファイル名	CSV形式 「任意. CSV」 ZIP形式 「任意. ZIP」
4 指定日	スペースの場合本日付で処理 ※指定日を含みます
5 店舗	スペースの場合全店舗
6 カテゴリー	スペースの場合全カテゴリー
7 変更情報	1: 変更売場の全情報を出力(削除情報、売場移動含む) 2: 変更売場の全情報を出力(削除情報、売場移動除く) 3: 新規情報(追加含む)のみ出力 4: 削除情報のみ出力 5: 削除情報(売場移動含む)のみ出力 6: 新規情報(追加含む)、削除情報を出力 7: 新規情報(追加含む)、削除情報(売場移動含む)を出力 8: 新規情報、削除情報を出力 9: 新規情報、削除情報(売場移動含む)を出力 10: 新規情報のみ出力
8 抽出区分	0: 全件対象 1: 未抽出売場分 ※カテゴリー、店舗の単位で送信未送信を判断します。
9 抽出対象終了日 (オプション)	指定日から抽出対象終了日までの変更情報を対象にします。 終了日以降の棚割変更を抽出しません

指定日以降で変更のある売場の陳列を抽出します。

◆ 店POWER陳列連携処理抽出実行コマンド仕様

項目	備考
1 識別	「TP-INOUT」を指定
2 処理コード	1080: 店POWER陳列連携処理抽出実行

店POWERの陳列連携処理で予約した内容を抽出します。

◆ 新規削除陳列情報抽出コマンド仕様

項目	備考
1 識別	「TP-INOUT」を指定
2 処理コード	1022: 新規削除陳列情報抽出
3 処理ファイル名	CSV形式 「任意. CSV」 ZIP形式 「任意. ZIP」
4 指定日	スペースの場合本日付で処理
5 店舗	スペースの場合全店舗

指定日以降の未抽出陳列を対象にします。

新規は対象日に対象店で初めて取り扱われる商品です。

削除は対象日に対象店で最後に削除される商品です。

● 店舗陳列情報ファイル仕様

【1行目】

No	項目	桁数	備考
1	カテゴリーコード	10	
2	店舗コード	10	
3	パターンコード	10	
4	年	4	出力しません
5	週	3	出力しません
6	棚割開始日	8	YYYYMMDD
7	棚割終了日	8	直近未来棚割開始日-1日、未来棚割が無い場合は99991231
8	ゴンドラNo	10	
9	台	2	
10	段	2	
11	列	4	
12	台(カセット)	2	
13	段(カセット)	2	
14	列(カセット)	4	
15	陳列形態	1	0:なし 1:別商品積上 2:手前挿入
16	陳列連番	4	
17	共通商品コード	13	
18	プライベートコード	30	
19	フェイス数	4	
20	陳列面	2	1:正面 2:上面 3:側面 4:横正面 5:横上面 6:横側面7:B正面 8:B上面 9:B側面 13:C正面 14:C上面 15:C側面0:ダミー商品 投込商品
21	積上数	2	
22	陳列在庫数量	5	
23	実在庫数量	5	
24	取扱区分	1	0:選択 1:必須
25	最大在庫	5	
26	最小在庫	5	
27	変更区分	1	0:継続 1:新規 2:移動 3:フェイス変更 7:追加 8:売場移動 9:削除
28	削除区分	10	
29	企画コード	10	出力しません

以下の項目は環境設定の設定を変更する事によって出力内容が変わります。

30	削除コメント	30	※削除指示でコメントを出力するが有効時
31	削除区分2	10	※削除区分設定が2の場合
32	削除コメント2	30	※削除区分設定が2で、削除指示でコメントを出力するが有効時
33	削除日付	8	※削除指示で日付を出力するが有効時

以下の項目は環境設定の設定を変更する事によって出力内容が変わります。

34	段種別	1	※店舗陳列情報で段種別を出力するが有効時 0:通常棚 1:フック棚 2:ネット棚 3:ラベルフック棚 4:平台
----	-----	---	---

【2行目以降はデータ行】

◆ 新店発注情報抽出コマンド仕様

	項目	備考
1	識別	「TP-INOUT」を指定
2	処理コード	1025:新店発注情報抽出
3	処理ファイル名	CSV形式 「任意.CSV」 ZIP形式 「任意.ZIP」
4	指定日	必ず指定
5	店舗	必ず指定
6	カテゴリー	スペースの場合全カテゴリー

指定日過去直近の新店発注入力データを抽出します。

◆ 新規発注情報抽出コマンド仕様

	項目	備考
1	識別	「TP-INOUT」を指定
2	処理コード	1026:新規発注情報抽出
3	処理ファイル名	CSV形式 「任意.CSV」 ZIP形式 「任意.ZIP」
4	指定日	スペースの場合本日付で処理
5	店舗	スペースの場合全店舗
6	カテゴリー	スペースの場合全カテゴリー

指定日以降の新規発注入力データを抽出します。

● 発注情報ファイル仕様

【1行目】

No	項目	桁数	備考
1	カテゴリーコード	10	
2	店舗コード	10	
3	棚割開始日	8	YYYYMMDD
4	共通商品コード	13	
5	プライベートコード	30	
6	発注量	5	

【2行目以降はデータ行】

◆ 陳列抽出済マークコマンド仕様

	項目	備考
1	識別	「TP-INOUT」を指定
2	処理コード	1029:陳列抽出済マーク
3	指定日	スペースの場合本日付で処理
4	店舗	スペースの場合全店舗
5	カテゴリー	スペースの場合全カテゴリー

指定日以降の売場を抽出済としてマークします。

以下の陳列抽出処理に影響します。

- ・店舗変更陳列情報抽出
- ・新規削除陳列情報抽出

◆ 商品一括入換仕様

	項目	備考
1	識別	「TP-INOUT」を指定
2	処理コード	1090:商品一括入換
3	処理ファイル名	CSV形式 「任意.CSV」 ZIP形式 「任意.ZIP」
4	棚割変更日	未来日付を必ず指定

※更新ファイルはCSV形式で、削除JANコードと新規JANコードをカンマで区切ります。

1列目に削除JANコード、2列目に新規JANコードを配置します。ヘッダーレコードは必要ありません。

※対象商品の陳列済みパターン棚割を検索し、パターン棚割更新後に個店棚割を更新します。

※更新するパターン棚割および個店棚割はパラメータ指定の棚割変更日で新世代を作成します。

◆パターン陳列情報更新コマンド仕様

	項目	備考
1	識別	「TP-INOUT」を指定
2	処理コード	1100:パターン陳列情報更新
3	処理ファイル名	CSV形式 「任意.CSV」 ZIP形式 「任意.ZIP」

●パターン陳列情報更新ファイル仕様

【1行目】

No	項目	桁数	備考
1	カテゴリーコード	10	
2	パターンコード	10	
3	棚割変更日	8	
4	台	2	
5	段	2	
6	列	4	
7	共通商品コード	13	
8	フェイス数	4	
9	陳列面	2	1:正面 2:上面 3:側面 4:横正面 5:横上面 6:横側面 7:正面(ボール) 8:上面(ボール) 9:側面(ボール) 13:正面(ケース) 14:上面(ケース) 15:側面(ケース)
10	積上数	2	
11	陳列在庫数量	5	
12	実在庫数量	5	

【2行目以降はデータ行】

※什器情報は商品サイズより自動で生成します。

※直近パターンに割りつく店舗棚割を作成します。

※[環境設定]-[棚割操作]-[過不足チェックを行う(ゴンドラ)]が有効な場合、什器台数の変更はできません。

◆ 個店陳列情報更新コマンド仕様(カテゴリーキー)

項目	備考
1 識別	「TP-INOUT」を指定
2 処理コード	1070:個店陳列情報更新
3 処理ファイル名	CSV形式 「任意.CSV」 ZIP形式 「任意.ZIP」
4 更新区分	0:全部 1:段単位 ※段単位の場合は最低限指定段にある全陳列データが必要です。 2:台単位 ※台単位の場合は最低限指定台にある全陳列データが必要です。

● 店舗陳列情報更新ファイル仕様(カテゴリーキー)

【1行目】

No	項目	桁数	更新時	備考
1	カテゴリーコード	10	必須	
2	店舗コード	10	必須	
3	台	2	必須	
4	段	2	必須	
5	列	4	必須	
6	台(カセット)	2	任意	
7	段(カセット)	2	任意	
8	列(カセット)	4	任意	
9	陳列形態	1	任意	0:なし 1:別商品積上 2:手前挿入
10	陳列連番	4	任意	
11	共通商品コード	13	必須	
12	フェイス数	4	任意	
13	陳列面	2	任意	1:正面 2:上面 3:側面 4:横正面 5:横上面 6:横側面 7:正面 8:上面 9:側面 13:正面 14:上面 15:側面
14	積上数	2	任意	
15	陳列在庫数量	5	任意	
16	実在庫数量	5	任意	

【2行目以降はデータ行】

※店舗の現状棚割を更新します。

※カテゴリー、店舗、台、段、列でソートしてください。

※更新区分が全部の場合、現行陳列より台数が少なくても什器情報は削除しません。

※更新区分が全部の場合、現行陳列より台数が多くなった場合はエラーになります。

※平台、ネット、X間隔ありフックは既存の商品の位置に陳列を再現します。

- ・陳列数が増える場合、平台はエラーとなります。
- ・陳列数が増える場合、ネットは通常棚に変更します。
- ・陳列数が増える場合、X間隔フックはX間隔なしに変更します。

※ネット、フックで積上がある場合は通常棚に変更します。

※平台に積上がある場合はエラーになります。

◆ 個店陳列情報更新コマンド仕様(ゴンドラNoキー)

項目	備考
1 識別	「TP-INOUT」を指定
2 処理コード	1071: 個店陳列情報更新
3 処理ファイル名	基幹システムから転送するファイル名を指定 CSV形式 「任意.CSV」 ZIP形式 「任意.ZIP」
4 更新区分	0:全部 1:段単位 ※段単位の場合は最低限指定段にある全陳列データが必要です。 2:台単位 ※台単位の場合は最低限指定台にある全陳列データが必要です。

● 店舗陳列情報更新ファイル仕様(ゴンドラNoキー)

【1行目】

No	項目	桁数	更新時	備考
1	店舗コード	10	必須	
2	ゴンドラNo	10	必須	
3	段	2	必須	
4	列	4	必須	
5	台(カセット)	2	任意	
6	段(カセット)	2	任意	
7	列(カセット)	4	任意	
8	陳列形態	1	任意	0:なし 1:別商品積上 2:手前挿入
9	陳列連番	4	任意	
10	共通商品コード	13	必須	
11	フェイス数	4	任意	
12	陳列面	2	任意	1:正面 2:上面 3:側面 4:横正面 5:横上面 6:横側面 7:正面 8:上面 9:側面 13:正面 14:上面 15:側面
13	積上数	2	任意	
14	陳列在庫数量	5	任意	
15	実在庫数量	5	任意	

【2行目以降はデータ行】

※処理はカテゴリー単位で行います。

更新区分が全部の場合はカテゴリーに含まれる全ゴンドラ分用意ください。

◆ 売上情報削除仕様

◆	項目	備 考
1	識別	「TP-INOUT」を指定
2	処理コード	9001: 売上情報削除
3	年	[処理実行日付]を軸に設定年数以前の売上情報/レジ通過人数を物理削除します。 0は設定不可。

■ [売上情報]の集計単位が[月]の場合

例). [処理年月]=2015年02月、[年]=2を設定時 → 2013年01月(=含む)以前の情報が削除対象となる。

例). [処理年月]=2015年01月、[年]=2を設定時 → 2012年12月(=含む)以前の情報が削除対象となる。

■ [売上情報]の集計単位が[週]の場合

例). [処理年週]=2015年02週、[年]=2を設定時 → 2013年01週(=含む)以前の情報が削除対象となる。

例). [処理年週]=2015年01週、[年]=2を設定時 → 2012年54週(=含む)以前の情報が削除対象となる。

■ [売上情報]の集計単位が[日]の場合

例). [処理日付]が2015/01/02、[年]=2を設定時 → 2013/01/01(=含む)以前の情報が削除対象となる。

例). [処理日付]が2015/01/01、[年]=2を設定時 → 2012/12/31(=含む)以前の情報が削除対象となる。

◆ 過去陳列情報削除仕様

◆	項目	備考
1	識別	「TP-INOUT」を指定
2	処理コード	9002: 過去陳列情報削除
3	年	[処理実行日付]を軸に設定年数を減算した時点より前の陳列関連情報を物理削除します。 0は設定不可。

■ 削除対象

- ・ [処理実行日付]を軸に設定年数を減算した時点で有効な棚割を除いてそれより前の棚割を削除する。
棚割モデル情報(店舗)
- ・ 削除対象となった棚割モデル情報(店舗)に該当する情報を削除する。
棚割モデル割付
陳列商品(店舗)
床POWER用什器(店舗)
ゴンドラ情報
最大在庫/最小在庫
発注
- ・ [処理実行日付]を軸に設定年数を減算した時点で有効な棚割、店舗で採用されている棚割を除いてそれより前の棚割を削除する。
棚割モデル情報(パターン)
- ・ 削除対象となった棚割モデル情報(パターン)に該当する情報を削除する。
陳列商品(パターン)
- ・ [処理実行日付]を軸に設定年数を減算した時点で終了している情報
企画情報
- ・ 削除対象となった企画情報に該当する情報を削除する。
企画商品情報
- ・ [処理実行日付]を軸に設定年数を減算した時点より前の情報
ログ情報

◆ POWER SCREEN店舗報告完了抽出コマンド仕様

項目	備考
1 識別	「TP-INOUT」を指定
2 処理コード	7000: POWER SCREEN店舗報告完了抽出
3 処理ファイル名	CSV形式 「任意.CSV」 ZIP形式 「任意.ZIP」
4 出力対象 (オプション)	1:完了のみ 2:未完了のみ 空白の場合は完了、未完了の全て
5 指定日 (オプション)	YYYYMMDD 空白の場合は本日日付で抽出

指定日過去直近の店舗報告データを抽出します。

● POWER SCREEN店舗報告完了抽出ファイル仕様

【1行目】

No	項目	桁数	備考
1	店舗コード	10	
2	カテゴリーコード	10	
3	棚割開始日	8	YYYYMMDD
4	完了日	8	YYYYMMDD(空白の場合、未完了)

【2行目以降はデータ行】